



長浜 音一 議員

事業推進のあり方、先導的プロジェクトについて

問 事業推進の事例として、(仮)南古河駅の設置について達成年度の設定とその間のロードマップはできているのか。



答 (市長) 予定地周辺における地元住民の方の合意形成等、い

ろいろな課題があり、思いだけではスケジュールはつくれない。できるところから行うべきと考えている。

住友商事株式会社との連携協力と締結の経緯について

問 同社との包括的連携協力によるまちづくりの推進に関する協定締結の経緯等について、①協定は「まちづくり全般」に関わる内容であるが、締結を前に執行部内でどのような部署を中心に議論がされてきたのか。②締結のきっかけは、同社からの声かけとしているが、どのような経緯で締結に至ったのか。③締結時に立ち会った同社関係者は、どんな立場の方が。

答 (市長) ②私自身がいろいろ

な方と話しする機会の中で、将来のまちづくりに関する部分の構想等について、一定の方向性が合致したため締結に至った。

答 (企画政策部長) ①総括的な取り組みであったため、市長の指示等を踏まえ、企画政策部を中心に打ち合わせを行った。③都市開発部門を担当している方である。

文化施設の構想について

問 文化施設に関する構想はどう考えているか。

答 (市長) まだまだ構想の域を超えるものではないが、来年度検討委員会を立ち上げさせていただき、いろいろな議論を積み上げていきたい。



小山 高正 議員

市民生活について

問 古河市空家等の適切な管理に関する条例について、令和2年3月の一般質問で更地後の固定資産税減免の継続は難しいとの答弁以後、本件に関して、何か新しい考えは持たれたのか。

答 (財政部長) 質問いただいた後に他自治体の情報を確認した結果、要綱はできているが実例がまだなく、効果の検証ができない状況である。

効果や課題を見極めたうえで、引き続き調査研究していきたい。

子育ての支援について

問 ①支援対象児童見守り強化事業を活用し、ももちゃんフードネットワークの多年度実施やこども宅食事業の実施を求めるといえるか。②ヤングケアラー問題の古河市の状況と今後の対策、また、古河市ケアラー支援条例の制定を求めるといえるか。



答 (福祉部長) ①ももちゃんフードネットワークについては、古

河市社会福祉協議会の独自事業として今年度実施を予定している。事業の継続は、事業実施後に、古河市社会福祉協議会と一緒に評価・検証を行っていく。支援対象児童等見守り強化事業は民間団体等の協力を得て、対象児童宅を訪問し見守りを行うことであり、児童宅に食材を提供する宅食型の支援も含めることができると認識している。市では今年度の実施はしなかったが、今後事業化に向けて検討していきたい。②現在学校等からの情報を受け、関係機関と連携しながら対応している。今後、調査方法を決定し、実態の把握を行い、どのような対応が必要か検討したい。市として条例化が必要かどうか、今後の検討課題としたい。